

平成13年度丸亀市内遺跡発掘調査概要報告書

丸亀市教育委員会

平成14年3月

はじめに

丸亀市内遺跡発掘調査は、国庫補助事業として文化庁及び香川県の協力を得て、市内に所在する埋蔵文化財の保存・保護を目的として、遺跡の所在や範囲・性格を確認し、丸亀市内の遺跡地図を完成させる事業です。

一方、本市は総合運動公園整備事業などの大規模な開発工事が着手・計画されておりますので、丸亀市教育委員会としても埋蔵文化財の保護を円滑に進めていく必要があります、遺跡を保護するための資料収集は責務といえます。

今後も市内にある埋蔵文化財の保護に努め、これらの遺跡を積極的に周知していき、郷土を愛する気持ちを育てる役割を果たす事業にしていきたい。

平成 14 年 3 月

丸亀市教育委員会

教育長 小佐古 公士

例 言

1. 本書は国庫補助・県費補助を得て、丸亀市教育委員会が実施した平成 13 年度丸亀市内遺跡発掘調査概要報告書である。
2. 今回の調査は、丸亀市金倉町字中の池に所在する中の池遺跡の範囲確認調査、丸亀市田村町の田村池内の遺構確認調査、丸亀市飯野町東二字山根の飯ノ山西麓で遺跡確認調査を実施した。
3. 発掘調査は丸亀市教育委員会文化課副主任東信男が担当し、北山多佳子、枝嶋佳奈が調査補助をした。本書の執筆、編集は東信男が担当した。
4. 挿図の一部に国土地理院地形図丸亀・善通寺（1/25000）を使用した。また実測図の縮尺はすべてスケール表示した。
5. 遺構の実測は東信男、北山多佳子、枝嶋佳奈が行い、トレースは東信男、北山多佳子、枝嶋佳奈が担当した。
6. 出土遺物の実測及びトレースは北山多佳子と枝嶋佳奈が担当した。
7. 遺物の写真は東信男が行った。
8. 出土遺物と図面・写真は丸亀市金倉現場事務所で保管している。
9. 発掘調査は、獅々堀隆司、堀家和宣、宮武恵美子、宮武セキ子、高木裕子、横山紀代子、和気シズ子、松原良子、江木静子、戸倉弘子各氏の協力を得た。
10. 本書の執筆にあたっては、米本仁、社会福祉法人厚仁会理事長 米本華代、事務長三木一生、横田泰人、徳安正道、淀川清真、大西幸男、香川県教育委員会文化行政課 宮崎哲治、財団法人香川県文化財調査センター 森下英二、乗松真也、財団法人元興寺文化財研究所 佐藤亜聖、各氏の助言・協力を得た。記して謝意を表する。

目 次

第1章 調査に至る経緯	1
第2章 調査の概要	1
A 金倉町（中の池遺跡）	1
B 田村町（田村池遺跡）	2
C 飯野町東二（飯ノ山西麓遺跡）	7

図版目次

A 金倉町（中の池遺跡）	
第1図 調査位置図	1
B 田村町（田村池遺跡）	
第1図 調査位置図	2
第2図 遺物実測図	3
第3図 調査平面図	4
第4図 北堤横断図・南堤横断図	5
第5図 北堤 N1 土層図 北堤 N3 土層図・平面図 南堤 S8 土層図・平面図	6
C 飯野町東二（飯ノ山西麓遺跡）	
第1図 調査位置図	7
第2図 調査平面図	8
第3図 遺物実測図	8
第4図 古墳実測図	9
第5図 遺物実測図	9

写真目次

A 金倉町（中の池遺跡）	
図版1 調査状況	10
図版2 旧河道確認状況	10
B 田村町（田村池遺跡）	
図版3 調査地全景	10
図版4 北堤 N1 遺物包含層	10
図版5 南堤 S8 遺構検出状況	10
図版6 南堤 S12 杭跡検出状況	10
図版7 池底の砂礫層に埋まっている土器	10
図版8 出土遺物	10
C 飯野町東二（飯ノ山西麓遺跡）	
図版9 第2調査区・古墳検出状況	11
図版10 第2調査区・古墳石室内	11
図版11 第2調査区・大型竪穴住居跡5	11
図版12 第2調査区・竪穴住居跡2	11
図版13 第2調査区・竪穴住居跡4（手前）と竪穴住居跡3（奥）	11
図版14 第2調査区・集石遺構	11

図版 15 第 2 調査区出土遺物 (弥生時代)	11
図版 16 第 2 調査区出土遺物 (古墳出土須恵器)	11

第 1 章 調査に至る経緯

平成 13 年度丸亀市内遺跡発掘調査事業は、国庫補助事業として文化庁と香川県の補助を得て丸亀市が実施した。

埋蔵文化財発掘調査は丸亀市教育委員会が行い、本年度は丸亀市金倉町字中の池 (中の池遺跡) で総合運動公園開発事業に伴う遺跡確認調査を行い、田村町では田村池内で遺跡確認調査及び分布調査を行った。飯野町東二字山根 (飯ノ山西麓) では造成工事中に丸亀市巡回調査員の報告により、遺物及び包含層が確認され、社会福祉法人厚仁会理事長米本華代氏の協力を得て遺跡確認調査を実施した。

第 2 章 調査の概要

A 金倉町 (中の池遺跡)

1. 調査目的 総合運動公園整備のため
2. 調査場所 丸亀市金倉町字中の池
975・976 - 1・977 - 2 番地
3. 調査主体 丸亀市教育委員会文化課
4. 調査担当 文化課 東信男・北山多佳子・
枝嶋佳奈
5. 調査期間 平成 13 年 10 月 13 日～11 月 7 日
6. 調査面積 約 80 m²
7. 調査方法 トレンチによる掘削断面と平面
の精査

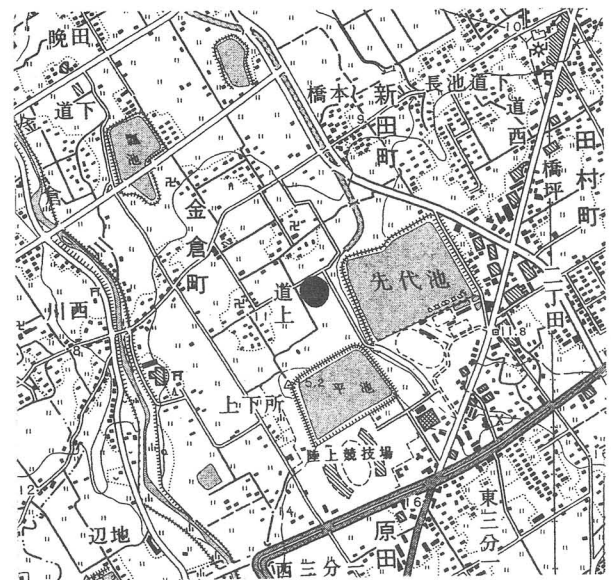
8. トレンチ調査の概要

調査地の北東側で 3 箇所の特レンチを設定した。耕作土直下で包含層が部分的に残っているが、後世の開墾に伴い遺構が削平されほとんど消失している。この下層では弥生時代前期以前の旧河道を確認しているが遺物の出土はなかった。

9. 出土遺物 なし

10. まとめ

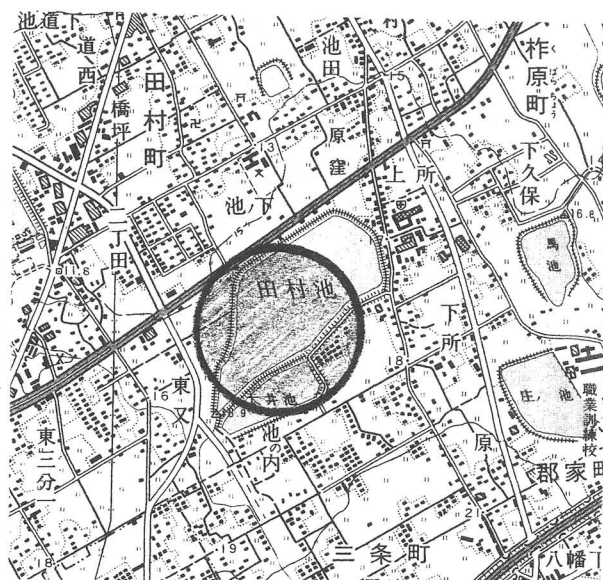
この箇所は多重環濠をもつ中の池遺跡から北東の位置にあたる。大部分は後世の開墾による削平に伴い遺構が消失している。



第 1 図 調査位置図

B 田村町（田村池遺跡）

1. 調査目的 遺跡確認調査
2. 調査場所 丸亀市田村町（田村池）
3. 調査主体 丸亀市教育委員会文化課
4. 調査担当 文化課 東信男・北山多佳子・
枝嶋佳奈
5. 調査期間 平成13年11月20日～
平成14年1月11日
6. 調査面積 約61㎡
7. 調査方法 トレンチによる掘削断面と平面
の精査（北堤10箇所・南堤13
箇所）
8. トレンチ調査の概要



第1図 調査位置図

番号	規模 (m)	遺構	出土遺物	特記事項
北堤				
N1	2.4×1.0	旧河川跡	土器片 (弥生)	2時期の旧流路あり。現況の池底から45cmで 上層流路の肩口。90cm下で弥生時代後期の土器 包含する下層流路。
N2	2.3×2.0	旧河川跡	なし	コンクリート用壁から約4.8m、現況池底から 25cm下で旧流路の肩口を確認。
N3	3.0×1.0	旧河川跡	なし	コンクリート用壁から約4.7m、現況池底から約 60cm下で旧流路の肩口を検出。
N4	1.4×0.8	旧河川跡	なし	現況の池底から約1m下で砂層。
N5	1.6×1.0	旧河川跡	なし	現況の池底から約20cmで粘土層。
N6	2.0×1.0	旧河川跡	なし	現況の池底から約30cmでシルト層。
N7	2.2×1.0	旧河川跡	なし	現況の池底から約30cmでシルト層。
N8	1.2×1.0	旧河川跡	なし	現況の池底から約14cmでシルト層。
N9	1.5×1.0	旧河川跡	なし	現況の池底から約30～40cm細砂層。
N10	2.8×1.0	旧河川跡	なし	現況の池底から約30cmで細砂層。
南堤				
S1	2.0×0.9	なし	なし	へドロ堆積50cm以上。
S2	2.2×1.3	なし	なし	へドロ堆積40～70cm以上。
S3	4.8×1.5	包含層	土器片(弥生) ・須恵器	へドロ堆積50cm以上。
S4	3.2×1.4	なし	なし	現況の池底から約1m下で砂層。
S5	1.6×1.1	なし	あり	
S6	2.5×1.0	あり	須恵器片	現況の池底から約50cm下で地山。遺構あり。
S7	1.6×1.6	河川跡	なし	現況の池底から約40cm下で地山。地山直上に遺 構あり。
S8	3.5×1.2	溝跡・柱跡	なし	現況の池底から約10～30cm下で溝跡や柱跡の遺 構あり。
S9	2.5×1.0	なし	なし	現況の池底から約20～30cm下で砂礫層の地山。
S10	2.1×1.0	なし	なし	現況の池底から約5～20cm下で砂礫層の地山。
S11	2.0×1.0	なし	なし	現況の池底から約30～50cm下で粘質土の地山。

S12	2.7×1.0	杭跡	なし	現況の池底が礫層の地山。地山直上に杭跡の遺構あり。
S13	2.0×1.0	なし	なし	現況の池底が礫層の地山。

9. 出土遺物

溝跡から弥生時代後期の土器片が出土している。池底の砂礫層では土器片が多く採取される。弥生時代の土器片をはじめ古墳時代の須恵器の杯身、杯蓋、甕、古代の杯など時代の特定できる遺物もある。

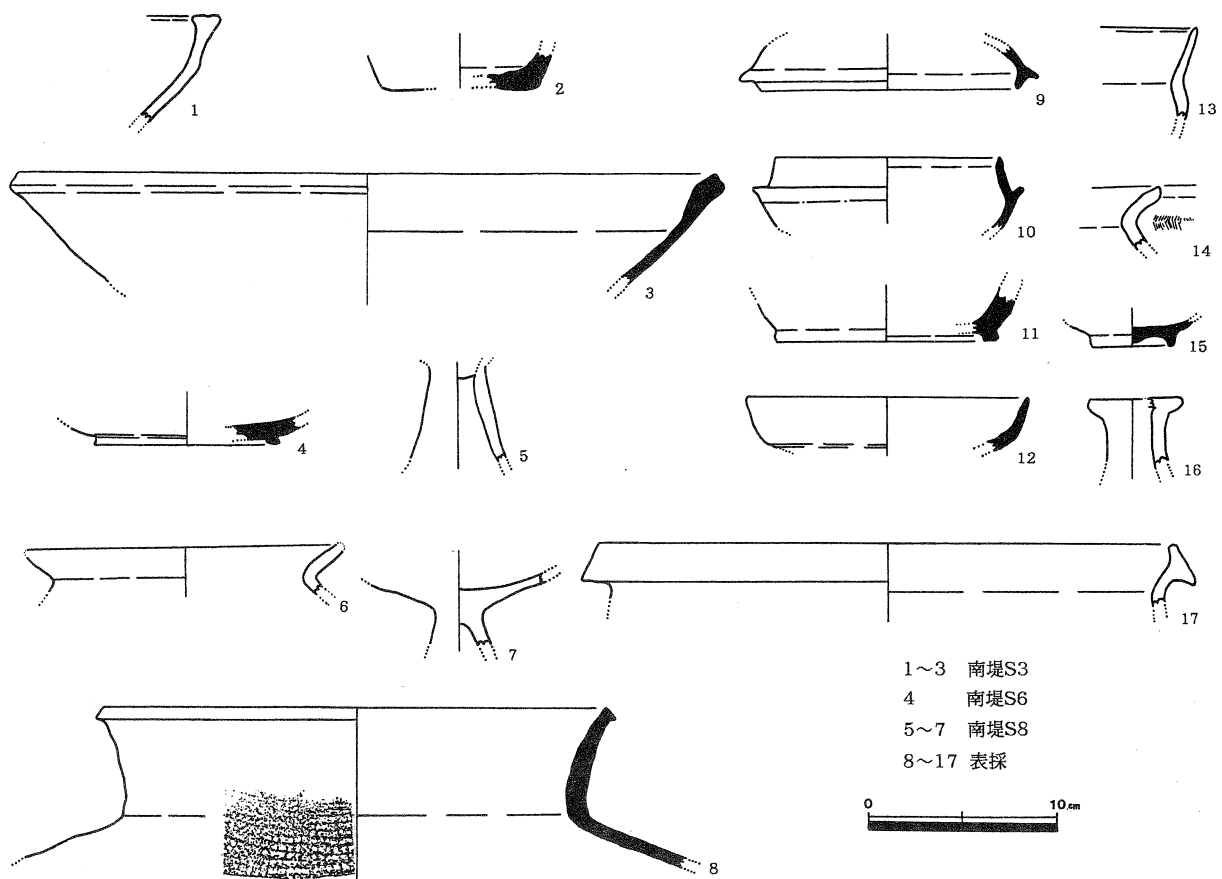
10. まとめ

N3では条里方向と一致する流路跡を確認した。N1でも2期の流路跡があり下層から弥生土器が出土した。N4・6～10はシルト層や砂層の堆積があり、田村池の造成前には河川跡や溝跡が流れていることを確認した。北堤の断面図を見ると堤防外側と池中の比高差は同じか外側がやや高いので、北堤の外側に遺構が残っている可能性はある。

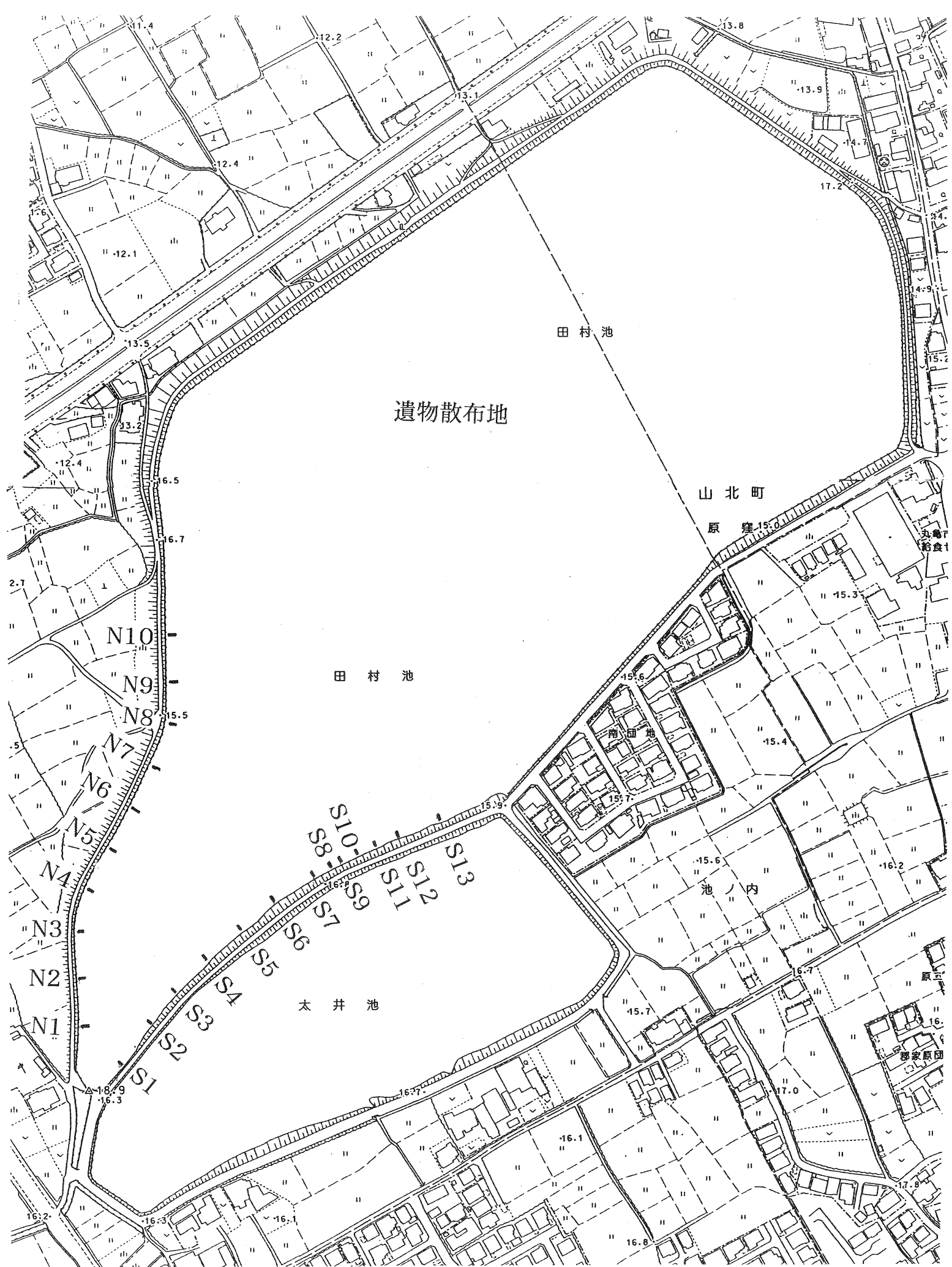
また南堤防のS6～12にかけて地山を確認しており、標高13.5～14mのあたりで杭跡や土器を包含する遺構を確認した。

遺跡の性格についてはトレンチの範囲が狭く確認することができなかったが、池中の砂礫層の高まりには土器が埋没しており、砂礫層の地山は遺構面と考えてよい。

今回の調査は小トレンチによる調査であり遺跡の全体像を把握することができなかったが、田村池の南堤中央部に遺構が所在することを確認した。また、池中央部の砂礫層の高まりには土器片が多数散布している。田村池の成立を考えるうえでも貴重な資料となることから、ヘドロ浚渫、堤防の改修については保護措置を図る必要がある。

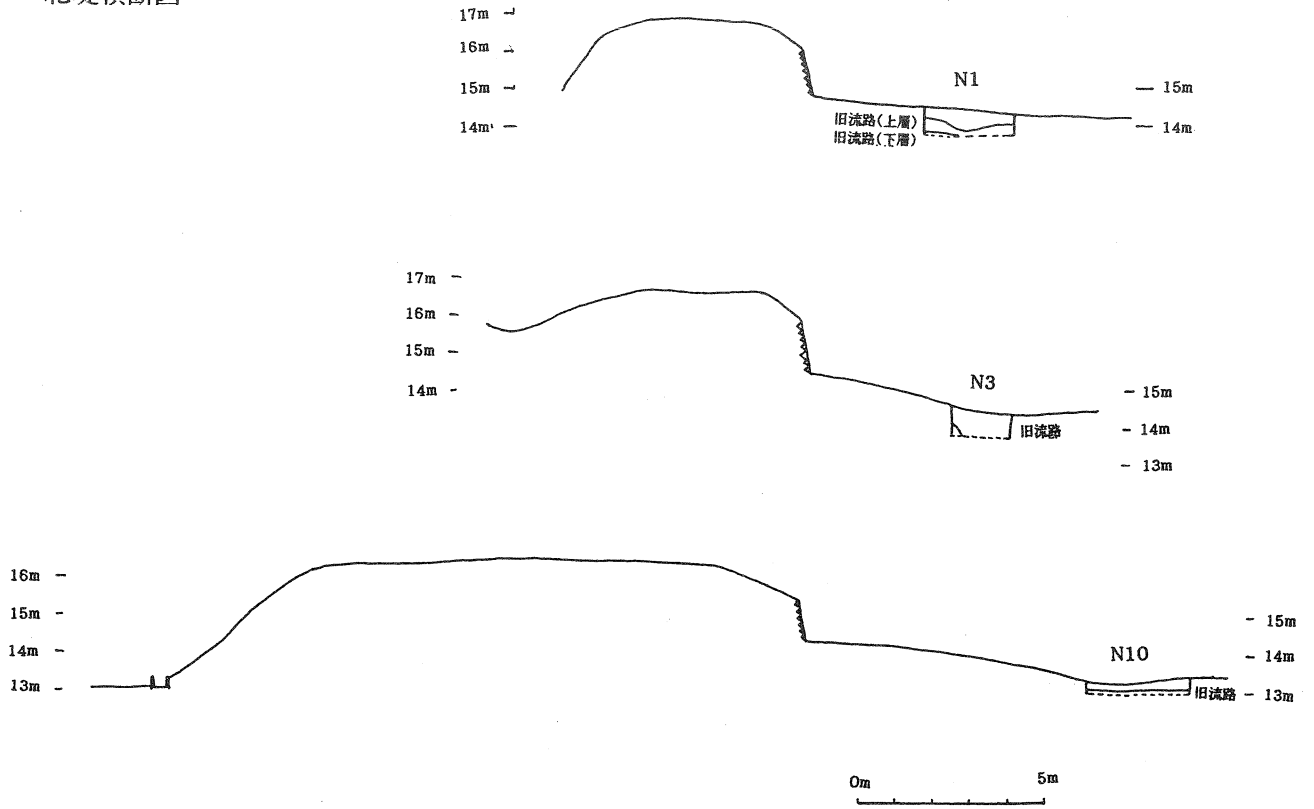


第2図 遺物実測図

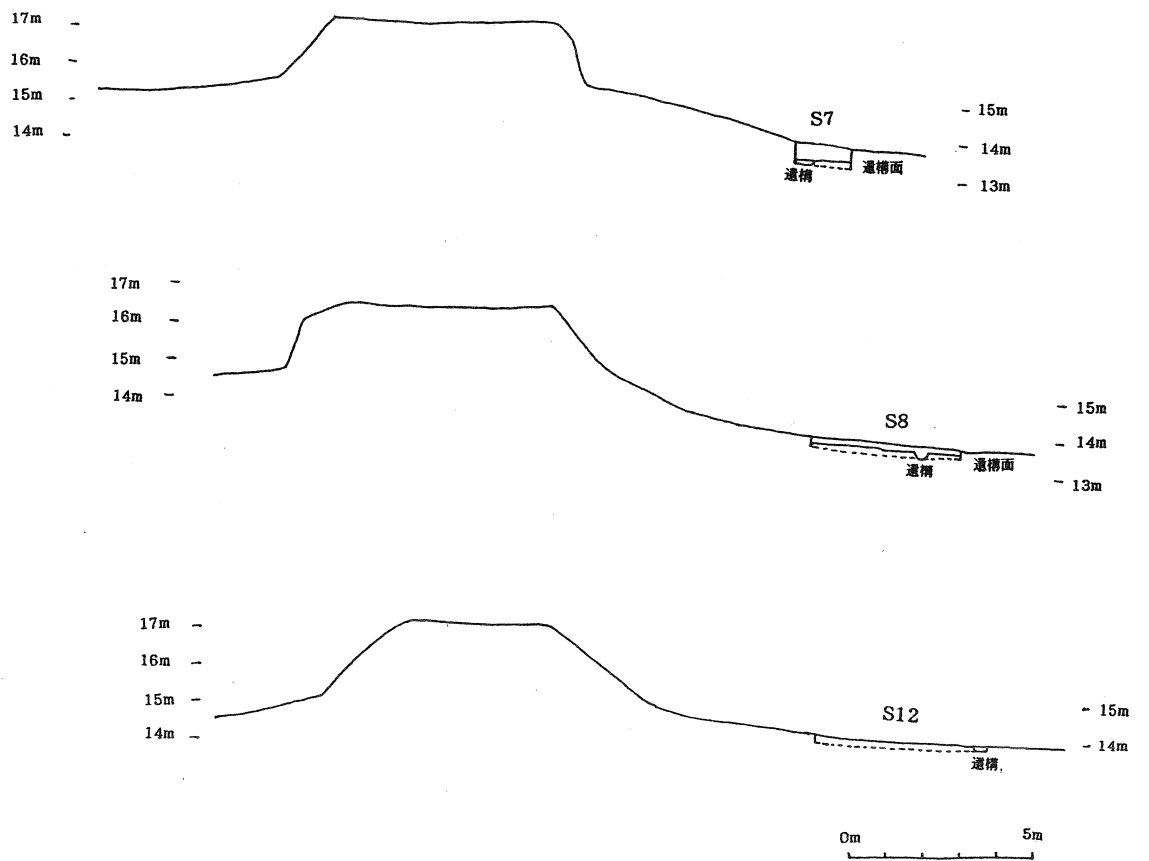


第3図 調査平面図

北堤横断图

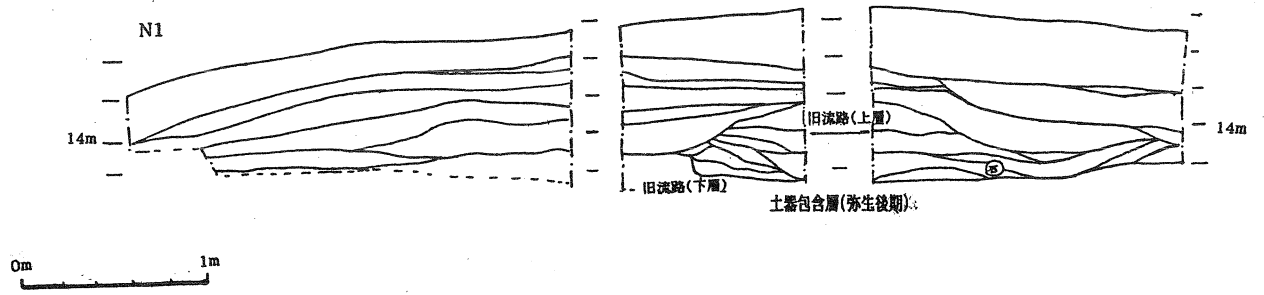


南堤横断图

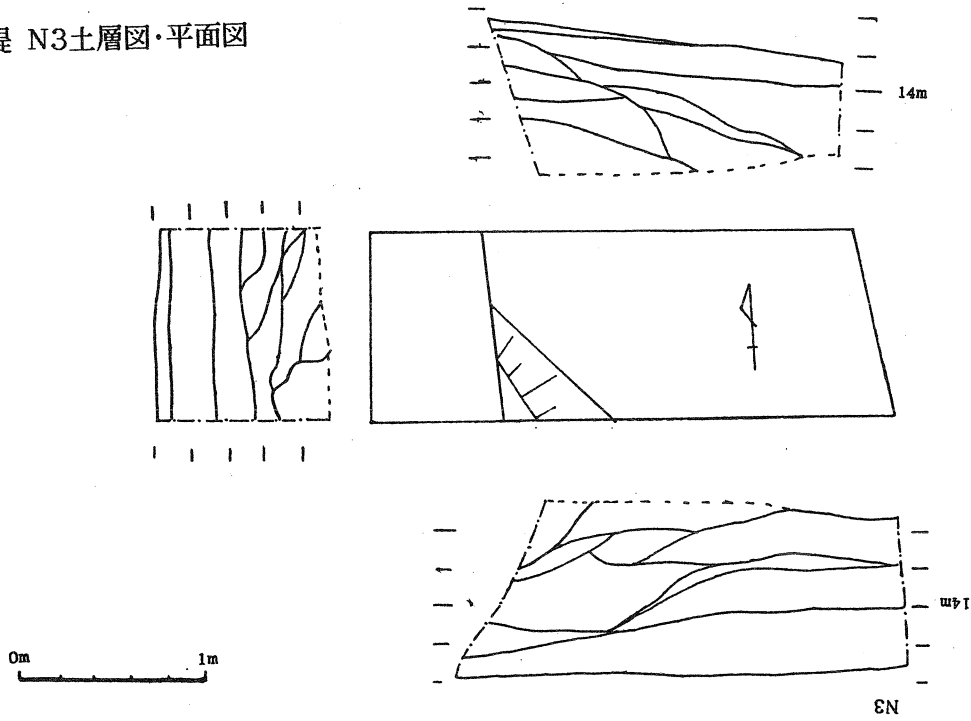


第4图 北堤横断图·南堤横断图

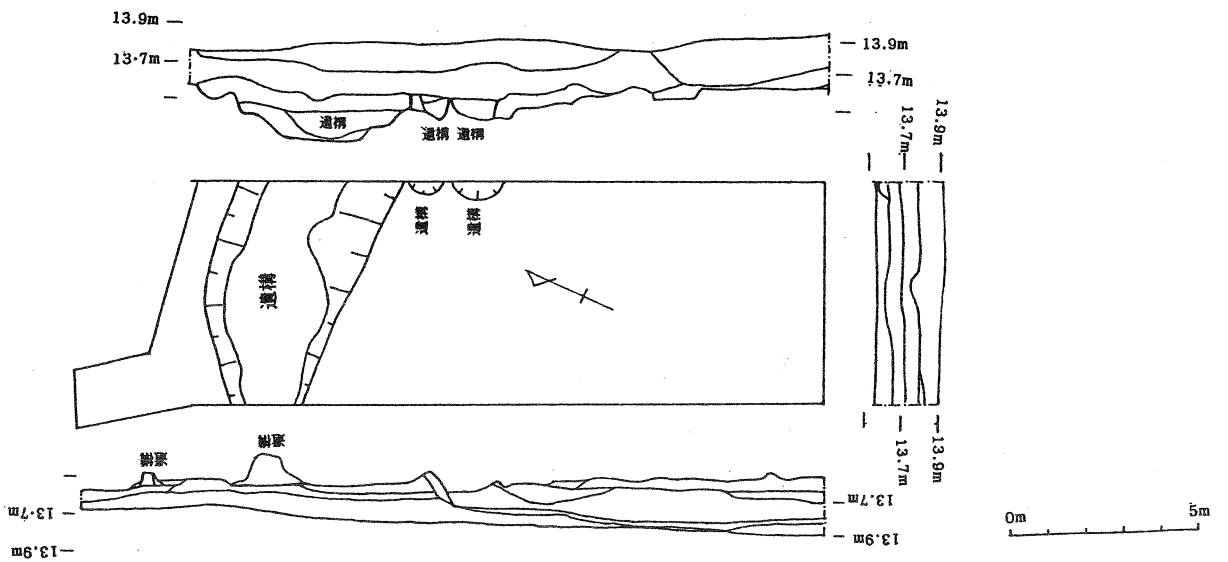
北堤 N1土層図



北堤 N3土層図・平面図



南堤 S8土層図・平面図



第5図 北堤N1土層図 北堤N3土層図・平面図 南堤S8土層図・平面図

C 飯野町東二（飯ノ山西麓遺跡）

1. 調査目的 遺跡確認調査
2. 調査場所 丸亀市飯野町東二字山根 25 番地 5, 12
3. 調査主体 丸亀市教育委員会文化課
4. 調査担当 文化課 東信男・北山多佳子・枝嶋佳奈
5. 調査期間 平成 13 年 12 月 3 日～
平成 14 年 3 月 28 日
6. 調査面積 800 m²
7. 調査方法 重機による表土掘削と人力による精査。

8. 調査の概要

（第 1 調査区）

造成工事中に石包丁などの石器片や土器片などを包含する土層を確認したので発掘調査を実施した。竪穴住居跡 1 棟と溝跡を検出した。調査地の大部分は削平を受けていたが柱跡も確認し、本来は複数の住居跡があったと思われる。

（第 2 調査区）

第 1 調査区のすぐ上の斜面も造成工事予定地であることから発掘調査を実施した。竪穴住居跡を 4 棟検出した。4 棟のうち 3 棟の規模は平均 4～6 m であるが、1 棟は径 8 m の大型竪穴住居である。周囲を巡る溝跡や建物内から弥生時代後期の出土遺物が多数出土した。

大型竪穴住居の跡地に古墳時代後期の横穴石室をもつ円墳が造られている。天井石や側石は大部分が抜き取られ側石がわずかに残る程度である。石室内の床面は礫敷きとなっており、須恵器や装身具（玉類・耳環）、鉄器片等が出土した。

また、時期及び用途不明の並列する集石遺構を 2 基確認している。これは 1 辺 1.2m 程度の方形区画に川原石を詰め込んだものである。

9. 出土遺物

第 1 調査区では弥生土器片、石器片（サヌカイト片・石包丁）が出土した。

第 2 調査区では弥生土器片、石器片（サヌカイト片・石包丁）が竪穴住居跡内及び周囲を巡る溝跡や土こうから出土している。大型竪穴住居跡内からは弥生時代後期末の遺物が、その他の竪穴住居跡からは弥生時代後期初め頃の遺物が出土している。古墳の石室内部から須恵器（杯身、杯蓋、提瓶、ハソウ）、鉄器（釘、鉄鏃）、装身具（管玉、ガラス玉、耳環、指輪）が出土している。

10. まとめ

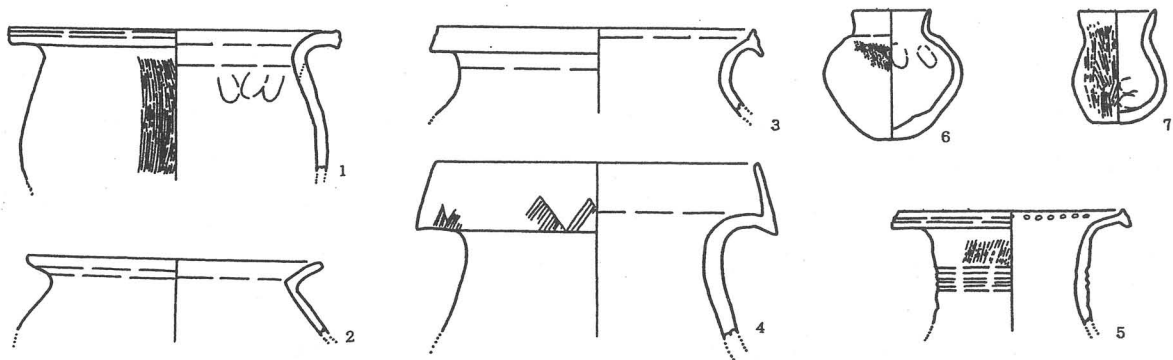
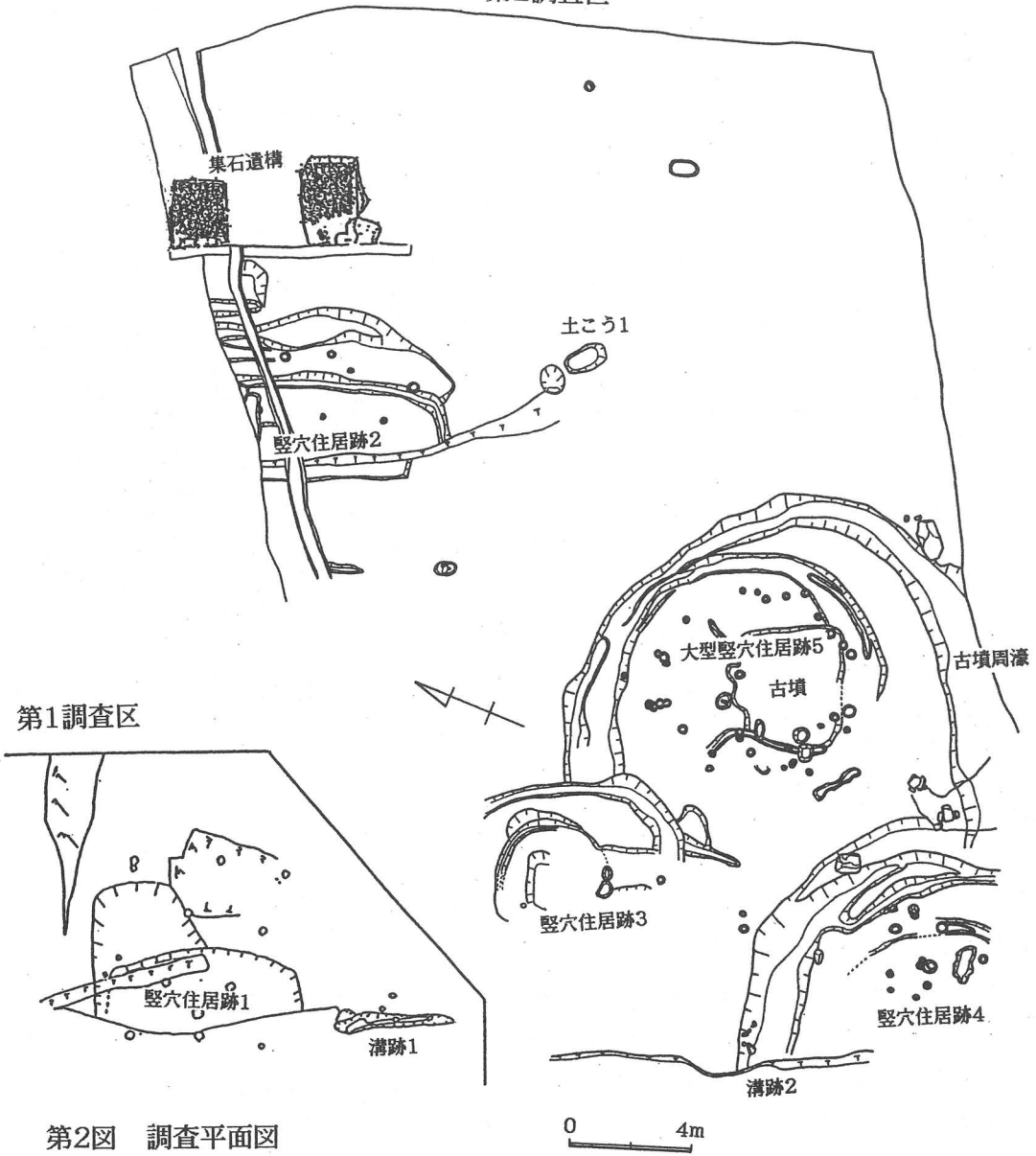
調査範囲内全体が弥生時代後期から古墳時代までの遺跡である。調査地すぐ上の丸亀市野外活動センターやその上の斜面部で弥生時代中期から後期の土器片が見つかっており、山頂では弥生時代中期頃の土器片が発見されている。山頂から山麓まで広範囲に遺跡が広がると推定される。

また、今回の調査では尾根筋でない斜面から古墳も発見された。現地形から判別しにくいですが、弥生時代の大型竪穴住居跡地の平場を利用して後期古墳を築いており、斜面部であるが古墳が点在している可能性が高い。



第 1 図 調査位置図

第2調査区



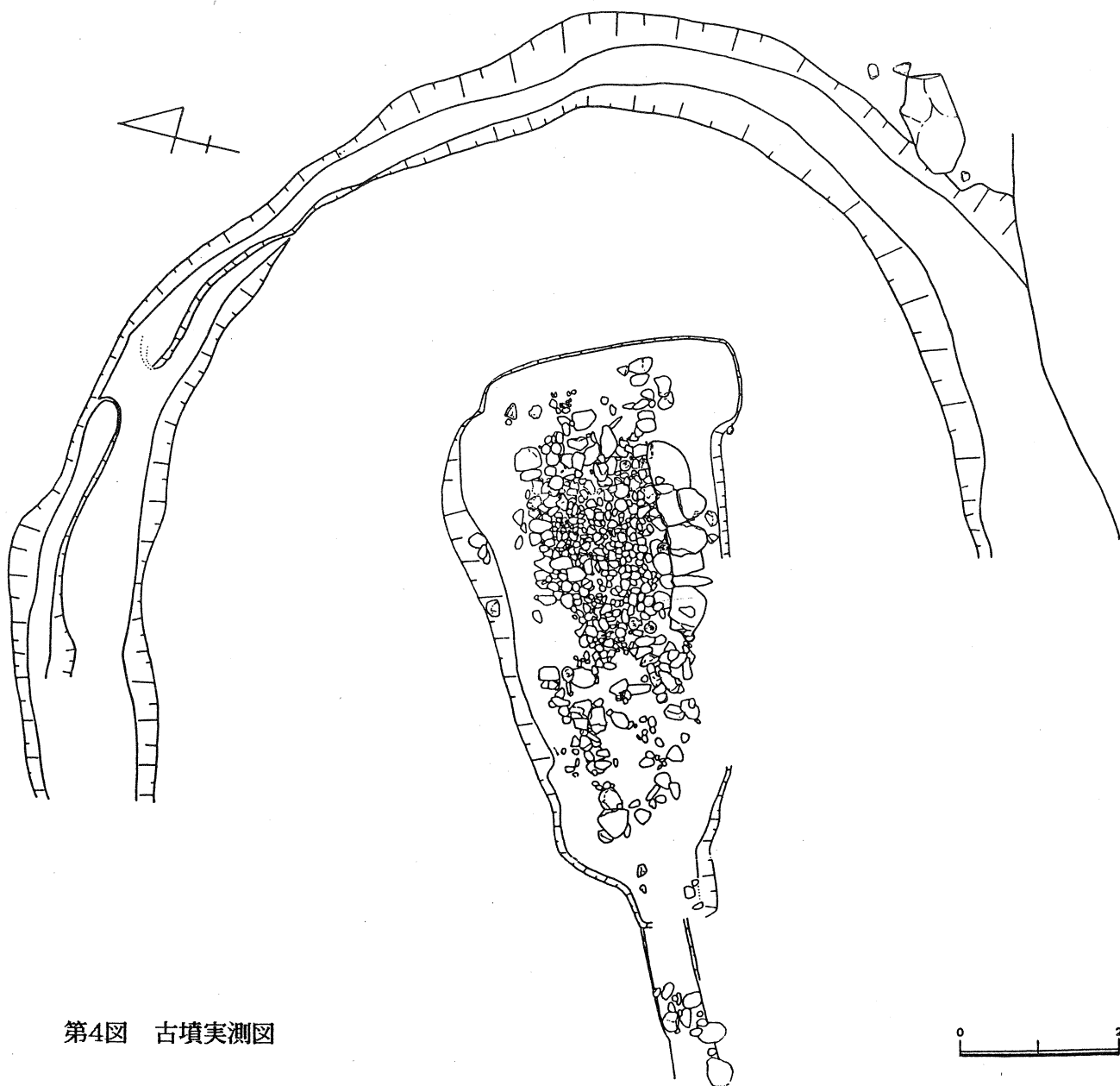
1・2 竪穴住居跡2

3・4 土こう1

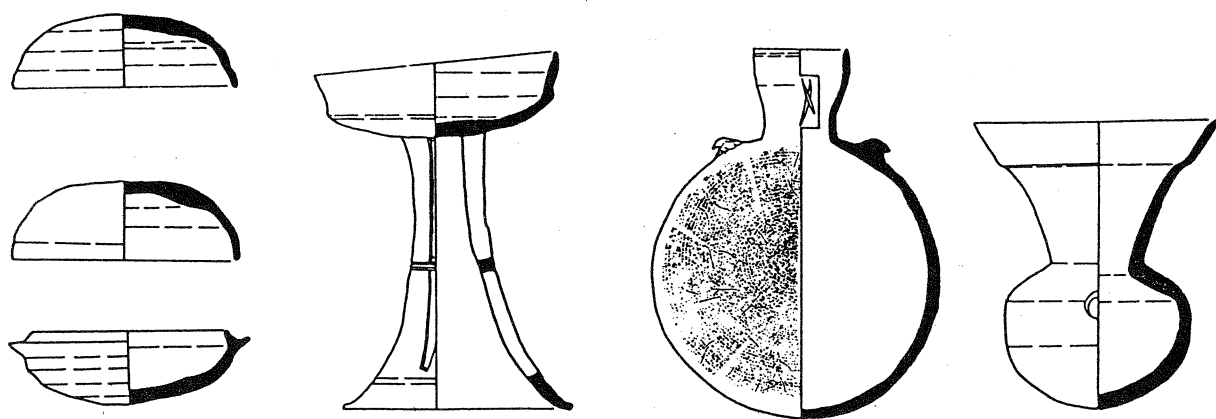
5~7 溝跡2

第3図 遺物実測図(弥生時代)

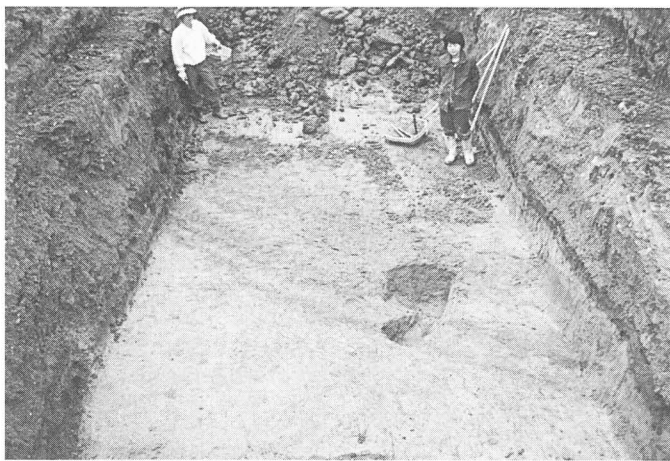




第4図 古墳実測図



第5図 遺物実測図(古墳出土遺物)



A金倉町（中の池遺跡）図版1 調査状況



図版2 旧河道確認状況



B田村町（田村池遺跡）図版3 調査地全景



図版4 北堤N1遺物包含層



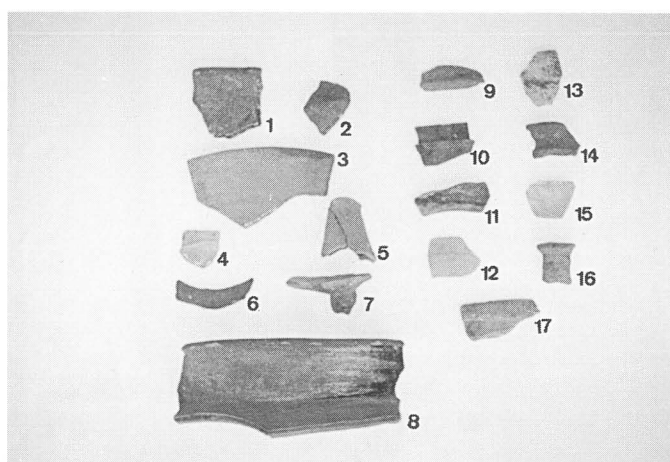
図版5 南堤S8遺構検出状況



図版6 南堤S12杭跡検出状況



図版7 池底の砂礫に埋まっている土器



図版8 出土遺物



C 飯野町東二（飯ノ山西麓遺跡）図版9 第2調査区・古墳検出状況



図版10 第2調査区・古墳石室内



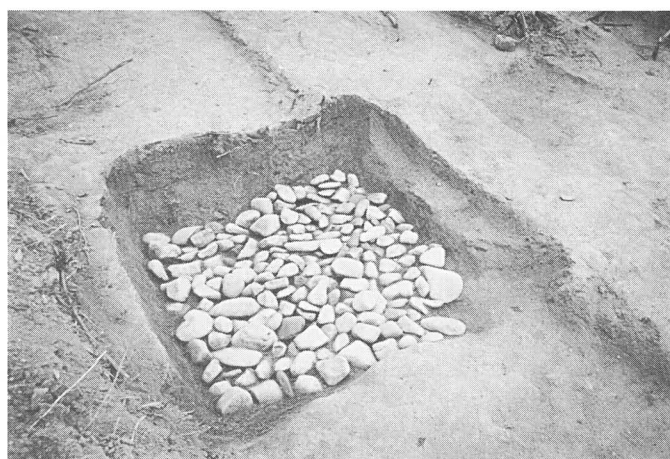
図版11 第2調査区・大型竪穴住居跡5



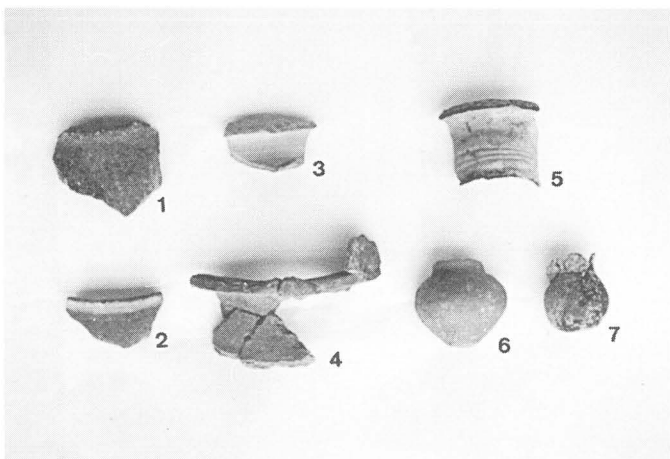
図版12 第2調査区・竪穴住居跡2



図版13 第2調査区・竪穴住居跡4（手前）と竪穴住居跡3（奥）



図版14 第2調査区・集石遺構



図版15 第2調査区出土遺物（弥生時代）



図版16 第2調査区出土遺物（古墳出土須恵器）

報告書抄録

ふりがな	へいせいじゅうさんねんどまるがめしなしいせきはつちょうさほうこくしょ							
書名	平成13年度丸亀市内遺跡発掘調査報告書							
副書名								
巻次								
シリーズ名								
シリーズ番号								
編著者名	東 信男							
編集機関	丸亀市教育委員会							
所在地	〒763-8501 香川県丸亀市大手町二丁目3番1号							
発行年月日	西暦2002年3月31日							
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード		北緯 ° / ' / "	東経 ° / ' / "	調査期間	調査面積 m ²	調査原因
		市町村	遺跡番号					
なか いけ 中の池遺跡	かがわけん 香川県 まるがめし 丸亀市 かなくちちょう 金倉町	37202		34° 15' 51"	133° 47' 15"	2001.10.13 ～ 2001.11.7	80	総合運動公園整備のため
たむらいけ 田村池遺跡	かがわけん 香川県 まるがめし 丸亀市 たむらちちょう 田村町	37202		34° 15' 39"	133° 48' 12"	2001.11.20 ～ 2002.1.11	61	遺跡確認調査
いいのやまさいろく 飯ノ山西麓遺跡	かがわけん 香川県 まるがめし 丸亀市 いいのちやうひがしふた 飯野町東二	37202		34° 15' 3"	133° 50' 28"	2002.12.3 ～ 2002.3.28	800	遺跡確認調査
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
中の池遺跡	集落跡	弥生時代前期	なし	なし				
田村池遺跡		弥生～近世	杭跡・溝跡・旧河道	土器片(弥生土器・須恵器)				
飯ノ山西麓遺跡	集落跡 古墳	弥生時代後期 古墳時代後期	竪穴住居跡 円墳	土器片・石器片 須恵器・玉類・鉄器				

平成13年度
丸亀市内遺跡発掘調査概要報告書

平成14年 3月発行

編集 香川県丸亀市大手町二丁目三番一号
発行 丸 亀 市 教 育 委 員 会

印刷 (株) 四 国 工 業 写 真